

日液協第22～45号  
平成22年7月28日

会員各位

日本液化石油ガス協議会  
会長 橋本 宏

経営者保安研修会共同宣言について

拝啓 時下ますますご清祥のことお慶び申し上げます。

平素は当協議会のため、ご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、7月8日、14日開催の日液協初めての試みである現場と経営が一体となった経営者保安研修会には、ご多忙中にも係わらず多大なご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

研修会において、お客様に安全・安心を提供すべく別添のとおり共同宣言を採択いたしました。

この採択に則り、当日ご参加いただきました経営者、担当者はもちろん、日液協会員各社におかれましては、さらなる保安の強化をお願い申し上げます。

敬 具

(送信手段：Eメール)  
(担当：服部・竹内・岩田)

## 第1回経営者保安研修会共同宣言

近年、LPガス事故件数は、高止まりの状況になっております。発生した事故の原因者には、LPガス販売事業者に起因するものも多く発生しております。更に、平成21年においてはCO中毒事故が14件発生し、死症者も88名にも上っております。このような状況は、LPガスの使用にかかる安全・安心を強く求める当協議会として看過することはできません。原子力安全・保安院では、平成22年度保安対策指針において、消費者保安の確保と事故撲滅のため、法令の確実な遵守と適切な保安対策の実施、自主保安の高度化の一層の推進を求められ、重点項目として

1. 業務用施設等におけるCO中毒事故防止
2. 供給設備の経年劣化による漏えい等LPガス販売事業者に起因する事故の防止
3. 一般消費者等への普及啓発による一般消費者等に起因する事故防止

以上3項目が掲げられております。

本日ここに、第1回経営者保安研修会を実施し、現場と経営が一体となって、消費者に安全・安心を提供すべく、下記共同宣言を採択いたします。

### 記

- (1) 業務用CO中毒事故撲滅に向けて、換気等の注意喚起およびCOセンサーの設置推進を行います。
- (2) 自主保安の高度化の推進に向けて、供給機器等の期限管理の徹底、埋設管管理の徹底およびPE管等への取替えの推進に努めます。
- (3) 保安査察等の実施により、法令遵守および保安業務の適切な実施を徹底いたします。
- (4) 保安教育の推進により、保安のレベルアップに努めます。

日本液化石油ガス協議会第1回経営者保安研修会参加者一同